

柳汀会総会は2019年4月29日（昭和の日）に母校多目的ホールにて開催されました。

今年も中村哲弥さん（S51卒）の安定感のある楽しい司会で総会は進みました。一般会員が90名、新入会員が72名の参加者があり、大盛況の総会となりました。



最初に松森重博会長（S42卒）からのご挨拶で総会はスタートしました。続いて学校より今年度から学校長として着任された内田忠賢校長からご挨拶がありました。

目前に迫った令和という新時代に向けた明るいご挨拶でした。



議事では松森会長から1年間の活動報告が行われました。続いて橋本勇一郎さん（S37卒）から会計報告がありました。会計報告では会報発行もままならない会報賛助金の実情などが詳しく報告され、賛助金への協力のお願がありました。会計監査の報告は河合士郎さん（S56卒）から行われました。



役員改選では、関東支部立ち上げから長年柳汀会にご尽力いただいた副会長の森本哲夫さん（S29卒）に代わって八尾和夫さん（S45卒）が承認されました。また理事には舩越眞知子さん（S45卒）が承認され、柳汀会を新しい体制で支えていくことが確認されました。



その後、柳汀会奨学基金について、吉田隆副校長より報告が行われました。柳汀会奨学基金は入学後、家計の急変等により経済的に困窮する生徒への支援を目的として設立されました。昨年度より奨学金の給付が始まり、給付を受けられたご家庭から感謝の声が届いていることや、今後も給付を必要とされるご家庭が増えることが予想され、毎年安定して給付を続けていくためには今後も寄付のご協力をお願いしたいことが呼びかけられました。

また創立110周年に向けて記念冊子への寄稿の呼びかけが行われました。110周年記念冊子は各学年の手記を集め、来年の柳汀会総会での発行を目標としています。



（ご購入の方法については〇ページをご参照ください）

新会員に向けて藤本真慈さん（S50卒）があたたかい言葉で歓迎され、新会員を代表して林健吾さんが附属での思い出や、今後の抱負を述べました。



恒例の校歌斉唱・学友の歌斉唱では、今年も北村美奈子さん（S51卒）の素晴らしい伴奏で学生時代を懐かしみながら歌うことができました。

最後に柳汀会同窓会（東京開催）の次回開催の案内があり、I部は幕を閉じました。

